

例題 5

次の計算を電卓を使っておこない、解を求めましょう。

(1) $8 - 2 \times 1 =$

(2) $35 - 4 \times 7 \div 2 =$

(3) $25 + 46 - 2 \times 13 =$

(4) $16 \div (12 - 8) =$



計算結果

(1) 2 \times 1 $=$

8 $=$

6

(2) 4 \times 7 \div 2 $=$

35 $=$

21

(3) 2 \times 13 $=$

46 $=$

(20)

$+$ 25 $=$

45

(4) 12 $-$ 8 \div

16 $=$

4

6 定数計算

同じ数を何度も足したり割ったりすることがあります。例えば、

$$B+A=$$

$$C+A=$$

$$D+A=$$

$$E+A=$$

このような場合です。A を何度も別の数に足しています。もちろん、毎回「+A」を打ってもよいのですが、以下のように繰り返す数字が大きい場合、毎回同じ数字を打つのは時間がかかりますし、手数が増えるので誤入力の原因になります。

$$12+5,568,132=$$


$$23+5,568,132=$$

$$34+5,568,132=$$

$$45+5,568,132=$$


そのようなときは、「定数計算」を使用します。繰り返し同じ計算をすることを、定数計算と言います。「定数計算」モードになると、電卓に「K」が表示されます。

具体的には、




A	⊕⊕	B	⊞
		C	⊞
		D	⊞
		E	⊞

と打ちます。先ほどの計算であれば、



5,568,132	⊕⊕	12	⊞
		23	⊞
		34	⊞
		45	⊞

となります。以上の例は足し算の場合ですが、すべての四則計算で使うことができます。定数計算では、⊞などで結果を表示させる必要があることに注意してください。



9	⊖⊖	3	⊕	1	⊞
では誤りになります。					
9	⊖⊖	3			⊞
			⊕	1	⊞

例題 6

次の計算を電卓を使っておこない、解を求めましょう。

- (1) $4+5=$
 $7+5=$
 $7+5+5=$
- (2) $12-2=$
 $48-2=$
 $31-2=$
- (3) $53 \times 53=$
 $53 \times 2=$
 $53 \times 2 \times 53=$
- (4) $5 \div 5=$
 $35 \div 5=$
 $80 \div 5=$



計算結果

- (1) 5 $\oplus \oplus$
- | | | |
|---|----------|------------------------------|
| 4 | \equiv | 9 |
| 7 | \equiv | 12 |
| | \equiv | (12 に 5 $\oplus \oplus$) 17 |
- (2) 2 $\ominus \ominus$
- | | | |
|----|----------|----|
| 12 | \equiv | 10 |
| 48 | \equiv | 46 |
| 31 | \equiv | 29 |
- (3) 53 $\otimes \otimes$
- | | | |
|----|----------|-------------------------------------|
| 53 | \equiv | 2,809 |
| 2 | \equiv | 106 |
| | \equiv | (106 に 53 $\otimes \otimes$) 5,618 |
- (4) 5 $\div \div$
- | | | |
|----|----------|----|
| 5 | \equiv | 1 |
| 35 | \equiv | 7 |
| 80 | \equiv | 16 |